

石見銀山建設株式会社 SDGs宣言書



当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、
持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

2024年1月10日

石見銀山建設株式会社
代表取締役 黒田 突義

◆経営方針

- 社員・お客様・地域社会から強く必要とされる会社であり続ける
- 王道経営を目指す

◆目指す姿

- 地域のニーズに適合する品質の工事・サービスを提供する
- 人命尊重を基本理念としてルールを守り、品質・環境と安全の一体化を図る

SDGsの達成に向けた取り組み

働きがい

社員一人一人が仕事に対して高い意欲を持ち、自己実現の場として働きがいを感じられる環境を目指します。

<具体的な取り組み>

資格取得費用の補助、資格手当付与制度の整備／丁寧な教育指導／チームワークで完成度の高いものを作るやりがい／社員のキャリア面談の実施／採用後の丁寧な教育指導や、全員参加型の活気ある職場作りを実施

— 関連ゴール —



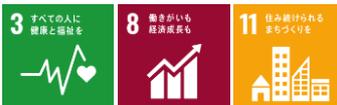
ワークライフバランス

社員の豊かなライフスタイル実現のため、育児や介護と仕事を両立しやすい環境を目指します。

<具体的な取り組み>

産前・産後休業・育児休業制度の整備／介護休暇・介護復職支援制度の整備／各種休暇を取得しやすい風土づくり／柔軟な勤務体制、フレックス制度の導入

— 関連ゴール —



地域の福祉・スポーツ・芸術活動支援

地域との良好な関係性を築くため、地域の福祉・スポーツ・芸術活動等に関する取り組みを行います。

<具体的な取り組み>

外部活動団体への寄付／地域住民を対象とした文化イベント企画・協賛（アートイベントやコンサート等）／地域のスポーツ振興、イベントへの参加・協賛

— 関連ゴール —



環境への配慮・マネジメントシステム構築

持続可能な社会の実現のため、環境配慮型製品・サービスの提供を推進します。

未来の地球環境を守るため、環境活動および社内体制の継続的改善に努めます。

<具体的な取り組み>

産廃製品を回収し、原材料として再利用／取り組みの担当部署、担当者、設置／環境活動に関するPDCA（目標・実行・チェック・改善）の仕組みを構築／ISO14001やエコアクション21等の認証取得／環境目標の設定

— 関連ゴール —



SDGsとは

2015年に国連で採択された「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称。

2030年までに持続可能なより良い社会を実現するために取り組むべき17のゴール、169のターゲットが掲げられている。

